

目標達成計画

作成日: 令和 3 年 12月 14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35 (13)	感染症や災害(火災・水害・地震等)を想定した体制を更に整える (R.7の水害被害の体験を基に)	同じ敷地内の施設と連携協力し、入居者が安心安全に生活を継続できる。	火災・水害・地震・感染症のヶ運連の計画・実施を行い、検証していく。 備蓄品の確認、保管場所のリストを作成し管理する。 行政・運営推進会議・小田地区へ働きかけ協力体制を構築する。	1年間
1	52 (19)	コロナ禍で思う様にご家族とも面会ができず、地域との交流やイベントもなく日常のストレスが溜まってきている。	居心地の良く、ストレスが少しでも軽減出来る様に工夫をする。 クラスターの発生をしない、させない。	季節を感じられる様に季節に応じた行事をGH内で行っていく。 感染状況を観てドライブや散歩で気分転換を図る。 居室やリビング等自分の居心地がいい様にしつらえをし、清掃、換気・お花等の継続に努める。 ご家族との面会時には気持ちよく過ごせる様に玄関先を清掃し清潔に保つ。 (※現在面会等玄関ロビーの長椅子)	1年間
3					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。